

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習1C											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務経験	有	職種	デザイナー				
授業概要											
この科目を受講する学生は、基礎的な3DCADソフトRhinocerosを使い、2D図面、3Dモデリング等の基本操作を修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ3D・CADの知識と技術を学び、正しい操作を身に着けるようになります。プロダクトデザインの「デジタルデータ」に関連する知識と技術を理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
ライノセラス上で2D図面作成、3Dデータの作成ができること。3Dのモデリング、レンダリング、加工機への出力、プレゼンテーションが作成できること。3DCADの基本操作の習得して、デザイン業界で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に3DCADの基本操作の習得2D図面と3Dモデリング/レンダリングデータ作成、3Dプリンターとレーザー加工機での出力加工と一連の流れを理解できるようになることを目標にしている。											
授業方法											
授業では、出題される課題のテーマを講師からの解説を受けます。3DCADソフトRhinoceroswの基本操作から3Dのモデリング、レンダリングと段階的にプロダクトデザインの3D・CADを修得する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの3Dデザイン力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザインのデジタル技術」を実践し、活用できるようにすることを目指す。											
成績評価方法											
プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する									
課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
学生に基礎的な2D図面、3Dモデリングから、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。現場で求められる3DCADの実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	基礎モデリング1 / 導入 3DCAD・Rhinoceros概要説明、3D使用例説明										
第2回	基礎モデリング2 / Rhinoceros基本操作説明 図面説明										
第3回	基礎モデリング3 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング										
第4回	基礎モデリング4 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング										
第5回	基礎モデリング5 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング										
第6回	基礎モデリング6 / 2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 1C	
第7回	基礎モデリング7 / 基礎3Dモデリング 1 (コーヒーカップ)
第8回	基礎モデリング8 / 基礎3Dモデリング 2 課題説明、レーザー加工説明、見本
第9回	基礎モデリング9 / 基礎3Dモデリング 2 (回転体デザイン)
第10回	基礎モデリング10 / 基礎3Dモデリング 2 (ロフト体デザイン)
第11回	基礎モデリング11 / 基礎3Dモデリング 2 (テーブルデザイン)
第12回	家電製品 - 三面図1 / 基礎3Dレンダリング
第13回	家電製品 - 三面図2 / 基礎3Dレンダリング
第14回	家電製品 - 三面図3 / 基礎3Dレンダリング、作品ボード作成
第15回	まとめ / 全体のまとめ